

教科シラバス(2年地歴科)

教科名	地歴	科目名	日本史 B	学年	2年(文系一般・習熟)	単位数	2
教科書と副教材			詳説日本史B、日本史のライブラリー、ゼミナール日本史				
1. 科目目標	<p>・我が国の歴史を諸資料を基に地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察し、日本の伝統と文化の特色について理解する。</p> <p>・世界史との関連をつけながら古代から近世までの各時代の特色及び変遷を総合的に考察させながら、我が国の歴史の展開について、学習を進める。</p> <p>・グローバル化が進む現代を理解する基礎科目として位置づけて学ばせる。</p>						
2. 学習方法	<p>(1) 授業の持ち物について:教科書、資料集、ノート(科目毎に替えてください)</p> <p>(2) 予習の仕方について:前もって、次回授業の教科書 2 頁程度を読んでおきましょう。</p> <p>(3) 授業の受け方について</p> <p><b>&lt;授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。&gt;</b></p> <p>ア 先生の説明をよく聞いて、最低限、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。</p> <p>イ ノートは板書事項を写すだけではなくて、(学習していく中で)自分が大切だと思ったことは書き加えると良いでしょう。</p> <p>ウ 学習内容について、常に「なぜ・どうして」といった疑問をもって考える姿勢で授業を受けましょう。</p> <p>(4) 家庭学習の仕方について</p> <p><b>&lt;家庭では、まわりの多くのことに目を向けましょう。&gt;</b></p> <p>ア 授業で習った箇所の教科書を読み返してみましよう。あわせて、ノートを見直すことが大切です。</p> <p>イ 授業中に疑問に思ったことなどは、自分なりに調べてみましよう。その際、インターネットなどを利用することは効果的です。</p> <p>ウ 新聞・雑誌・TVのニュース等に関心を持ちましよう。その際、過去の出来事(歴史)との因果関係を調べると現代の出来事がよく理解できます。</p> <p>エ 読書をしましよう。いろんなジャンルの本を読むことで新たな興味・関心が出てくるかもしれません。</p> <p>オ 歴史を扱った映画やテレビ番組を積極的に活用しましよう。時代背景をよく理解することができます。</p> <p>(5) 質問の仕方について</p> <p>分からないことは遠慮なく担当の先生に尋ねましよう。授業時間内の質問でも、放課後等でも質問することは可能です。</p>						
3. 学習評価	<p>学習評価は、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、提出された課題、学習態度等によって総合的に行います。</p>						
4. 学習ポート	<p>(1) 定期的に行われる小テストはとても大切です。その成績自体も評価の対象となりますし、定期考査に向けた学習にもなります。満点目指して取り組みましよう。</p> <p>(2) 日本史Bは、古代から現代までの一国の通史の学習が中心となり、身近な地域の歴史が関わってくるのが考えられます。その点において、毎日の新聞やテレビなどのニュースに関心を持つことは、授業内容をより深く理解するためにとっても大切です。</p> <p>(3) 定期考査・小テストの内容は、教科書・資料集・授業ノートの中から出されることがほとんどです。毎日の授業が一番大切です。</p>						

